

タンクローリへの装入と空ける作業（固体）

適用範囲

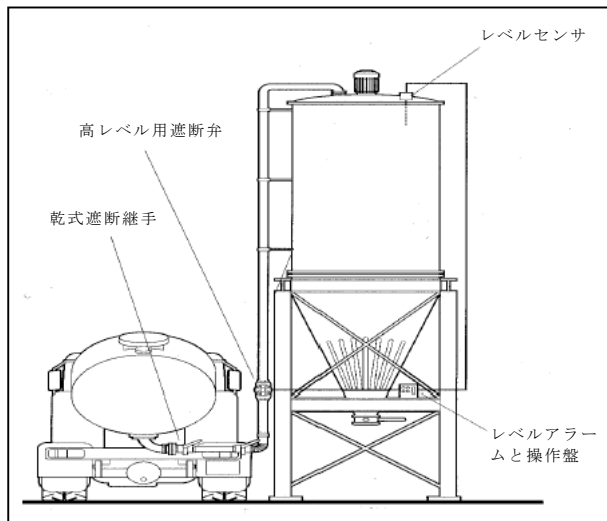
本作業指針シートは ILO 化学物質管理ツールキットの一部で、管理段階 3 が適用されるときに使用する。本作業指針シートは、タンクローリへの装入と貯蔵に関する規範および化学物質ばく露を防止するために従わなければならない注意事項を示す。すべての規範と注意事項に従うことが重要である。化学物質によっては引火性または腐食性があるので、これらの危険性に対しても適切な管理が必要である。詳細は、各化学物質の安全上の注意事項を参照すること。本作業指針シートは作業者の健康を守るための最低限の基準を示すが、工程管理またはその他の危険管理に必要な基準より低い管理基準を正当化するために、本作業指針シートを使ってはならない。

作業場

- 関係者以外を作業場に入れないようにし、風下で誰も作業していないことを確認すること。

設計と装置

- サイロの設計・製作が装入する材料に適しているか確認すること。



- ハッチにシールを取り付け、サイロへの装入またはサイロを空ける作業が終わったら、すべてのハッチを確実に閉じること。
- ロードセルまたはレベルメータを使って、過装入を防ぐこと。
- タンクローリとサイロの接続には防塵継手を使い、弁を設置してサイロからの排出速度を調節すること。
- タンクに通気孔を設け、空気をサイロに戻すか、扉、窓、吸気口、および通路から離れた安全な場所に排出するかすること。また、排気に粉じんフィル

タが必要か検討すること。

- タンクローリは多量の粉じんを運んでくる可能性があるので注意すること。

- 材料がなくなったときに、サイロ内に清潔かつ乾燥した空気が送れる装置を用意すること。
- 振動パッドやエアジェットなど、サイロに入らなくても障害物を取り除くことができる方法を検討すること。
- 車両などがサイロにぶつからないように障壁を設けること。
- 可燃性の固体を扱う場合は、爆発軽減装置の設置を検討し、装置を適切に固定してアースを確実に取ること。

点検、検査および保全

- 安全が確認できるまでサイロ内に入らないこと。危険物や引火性の物質がなく酸素が十分（19.5～22%）あることを確認する。侵入や作業により、危険性が増す場合もあるので注意すること。たとえば、スラッジの飛散や溶接による酸素不足などである。サイロ内の材料の崩落に備えて、落下防止ハーネスを着用すること。